

出雲市トキによるまちづくり構想 改定主旨

1. 基本方針

「トキ野生復帰ロードマップ2025」の発表と国のトキ保護増殖事業計画の変更により、国全体のトキ保護増殖事業が本州でのトキの野生復帰に向けて徐々に本格化していくのに合わせて、構想についても、出雲市でのトキの野生復帰実現に向けた色彩を強めたものに更新する。

2. 現行構想の反省点

令和3年3月に開催された令和2年度第2回出雲市トキによるまちづくり推進協議会において、構想策定後の10年間(2011~2020)についての総括を行ったところ、反省点として以下の点が挙げられた。

- ①個々の制度・事業において実践された施策は点在してはいるものの、構想を具体的に実践するための実施計画がなく、構想の下の一体的な展開に欠けていた。
- ②構想に目標年限がなく、スケジュール感が欠けていた。

3. 意見

令和2年度第2回出雲市トキによるまちづくり推進協議会において、構想の更新に向けて、主に以下のような意見が挙げられた。

- ①農業については、具体的なモデル地域を選定し、当該地域において中長期的に取り組むべき。
- ②市民や農業従事者への周知など、普及啓発の部分が未だ不十分であり、トキ保護に向けた意識は向上の余地があり、一層の努力が必要。

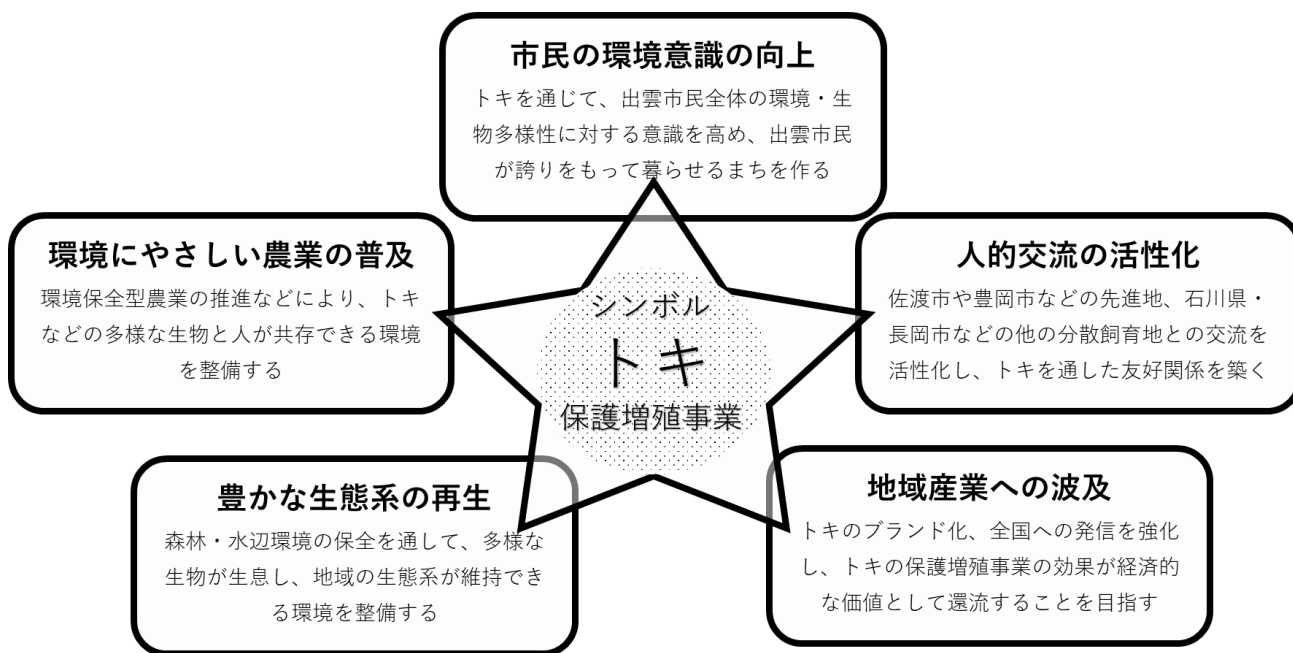
4. 主な変更点

①基本目標の変更

構想の基本目標について、いままでの成果も生かしながら、出雲市でのトキの野生復帰実現によりフォーカスしたものに変更し、「社会環境整備(普及啓発)」「環境保全型農業の普及」「生息環境整備」「交流の活性化」「地域産業への波及」の5本柱とする。

②実施計画の策定・目標年限の設定

構想を具体的に実現するための実施計画(アクション・プラン)を策定することを前提とする。また、実施計画のスケジュール感はロードマップに合わせ概ね5年ごととし、構想自体も概ね10年間という目標年限を設け、2030年ごろのトキ野生復帰実現を目指す。



<参考1> 「出雲市トキによるまちづくり構想」更新（案）策定過程

- 令和2年7月27日 令和2年度第1回出雲市トキによるまちづくり推進協議会
 - ・・・「出雲市トキ作業計画（案）」として、「出雲市トキによるまちづくり構想」更新（案）のたたき台を提示
- 令和3年3月11日 令和2年度第2回出雲市トキによるまちづくり推進協議会
 - ・・・現行「出雲市トキによるまちづくり構想」を総括し、評価・反省を行った
 - ・・・「出雲市トキによるまちづくり構想」更新に向けた協議を行った
- 令和3年7月9日 令和3年度第1回出雲市トキによるまちづくり推進協議会
 - ・・・「出雲市トキによるまちづくり構想」更新（素案）を提示、内容について協議を行った
- 令和3年11月25日 令和3年度第2回出雲市トキによるまちづくり推進協議会
 - ・・・前回の協議を踏まえて「出雲市トキによるまちづくり構想」更新（案）のブラッシュ・アップを行った
- 令和3年12月16日 ～ 令和4年1月14日 パブリックコメント実施
 - ・・・結果：提出意見なし

<参考2>

- 出雲市トキによるまちづくり推進協議会の委員から挙がり、今回の更新において反映した意見

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">➤ 県との連携を深めるべき➤ モデル地域を早急に選定すべき➤ 佐渡・豊岡への視察を実施すべき➤ 企業の寄附金を活用すべき➤ 「みどりの食料システム戦略」について言及してはどうか➤ 神西湖周辺などの耕作放棄地について言及してはどうか➤ 稗原地域などの指定棚田地域振興活動計画について言及してはどうか |
|--|